

たんぽぽだより

2003年3・4月 NO 4

川西市議会議員（日本共産党）

黒田みち

みんなが
住んでよかった
と思える川西市に…

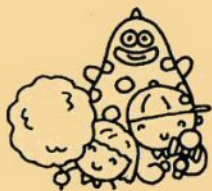
くらし、福祉、教育最優先の市政めざして

一雨ごとに、柔らかな[☀]の陽が、輝いているのを実感しますね。今、川西市議会は、3月定例議会の真っ只中です。一般質問等が、終わり、先週・今週は、一般会計予算、特別会計予算が、審議されています。（19日水曜日まで）

この3月議会では、川西市の総合計画（これから、10年間の川西の街づくりの方針の前期5年分の計画が、提案されています。

黒田みちの一般質問は次のたんぽぽだよりでお知らせするとして、今日は大枠の部分をお伝えします。

市長の施政方針には、「市民ひとりひとりが、人としての尊厳を保障され、人が人らしく、共に豊かさを分かち合うことができるとともに、主権者としての立場が実質的に保障され、それぞれが思い描く理想や夢が実現しうる民主的な社会を構築することであります。」と述べられていますが、実際には、開発優先の姿勢は、改められず、「財政難」「国が～だから」「県の方針」ということで、結局、市民に負担が押しつけられようとしています。



赤字にどっさり！



市が買い上げたジョイン川西駐車場などはず一と赤字。こんな経営には、税金をつぎ込み、「財政難だから」と老人医療（65～69歳医療費助成）の助成金をちぢめ、新たに約2000人の方に負担をかけ、知明湖キャンプ場の利用料は一気に3倍に引き上げる提案。「言ってる事とやってる事が違うんじゃないの？」と言いたくなります。

（予算は、28日金曜日に決まります。）



やっぱり、開発！

中央北地区の開発（川西市役所北側）は、新聞でも報道された様に「住宅街区整備事業」については、「休止」されましたが、「開発を止めるという事ではない。道路など整備は、官がやって、民間が参入しやすいように計画をすすめる。」と多額のお金をつぎ込む姿勢は変えません。それどころか、「お金が、無いのなら、借金だけをふくらませる開発はやめるべきだ」との答弁に、「選挙の時にこの事が争点になったが、私は、市民から選ばれた。」という始末。

今、どの街でも、駅前再開発が破綻をきたしています。大型店の競争を激化させる開発ではなく、川西で商売をしている人が、又、住んでいる人が、本当に仕事をやめず、住み続けられる街づくり、真の川西の活性化が、求められています。

ごみ焼却場ってどうなってるの？

川西市と猪名川、能勢、豊能町の1市3町のごみを川西市で燃やすという方針の「広域ごみ処理施設組合」は、2003年度住民合意も全く行われていない土地への建設事業にむけて本格的に動こうとしています。

ごみ議会の中で、「私達の飲み水の源、一庫ダムの上の焼却場は、危険！」「住民の反対を放っておけない」「貴重な、文化財や、珍しい動植物のある場所を守れ！」「どうして破産管財人が、入ったかみしれずの土地を選定したの？」等々意見が、出されましたが、「これは、川西市が、決めたから。」と逃げ、川西市議会では、「そのことは、広域ごみ処理施設組合で決めていく。」との答弁。

責任のあいまいさに驚いてしまいましたが、こんな大切な事が、知らない間にどんどん決められていくのは、黙ってはいられません。

北部・南部の現有炉のダイオキシン対策は、完了、北部のダイオキシン濃度は0.0003（ng-TEQ/Nm3）まで値が下がっています。

新しい炉ができて、古い炉の処理は、ほったらかしで、「一番大きなごみ」として、野ざらしになっている町が、全国にあります。（これもお金が無いという理由で棚上げになっているそうです。）

この辺の事も含めて川西のごみ問題考えていかなければならないのでは、ないでしょうか？ぜひ、一緒に考えていきましょう！



ごみと環境を 考えるシンポジウム

施設組合の焼却方式検討委員会は、ストーカ炉＋灰熔融炉方式と直接熔融炉方式の二つを推薦。

施設組合は新年度で本格的に建設へ向けて動き出そうとしています。わたしたちも声と智恵を集め、共同を広げていきたいと思います。

とき 3月22日（土）午後2時～4時30分

会場 川西市総合センター

3階 体育室

講師・コーディネーター

おおさか市民ネットワーク代表

藤永のぶよさん

主催 日本共産党川西市議団



各国がイラク戦争強行方針を批判

米大統領、新決議なしでも攻撃

【パリ16日浅田信幸】「パリ16日浅田信幸」が、米大統領、ブレア英首相およびスペインのアスナール首相は十六日（日本時間十七日未明）、ポルトガル領アンレス諸島のラジェス米空軍基地で会談。イラクへの武力行使に道を開く三国提出の決議案を安保理が十七日中に採択するよう要求しました。会談後の共同記者会見で、ブッシュ米大統領は十七日「世界にとって決定的な日となる」と発言。採択しない場合、決議なしの違法な武力行使強引な戦争強行策には、国際社会から強い反発と批判の声があがっています。

「戦争とは別の選択肢があり、自動的な武力行使に」

武力行使に反対

日本ペンクラブが緊急声明

日本ペンクラブ（梅原猛会長）は十七日、国連安全保障理事会の決議もなくイラク攻撃を強行しようとしている米英両国に抗議する緊急声明を発表しました。声明は、この戦争は、国連安全保障理事会の決議もなくイラク攻撃を強行しようとしている米英両国に抗議する緊急声明を発表しました。声明は、この戦争は、国連安全保障理事会の決議もなくイラク攻撃を強行しようとしている米英両国に抗議する緊急声明を発表しました。

「戦争とは別の選択肢があり、自動的な武力行使に」

道理ない米の孤立ぶり示す

小泉首相の対米追従を批判

市田書記局長が記者会見

日本共産党の市田忠義書記局長は十七日午後、国会内で記者会見し、米英スペイン三国が十七日にも国連安保理で対イラク武力行使につながる修正決議案を採決しなければ決議なしでも武力行使に踏み切る動きを示していることを、「国連安保理に対する事実上の最後通告という性格をもって」ときびしく批判。採決に必要な支持を得られないから武力行使に踏み切るという三方の態度について、「数カ月の査察が必要」と（国連査察団が）いつて、いふべきに、十日あまりで、おこなえない、な要求を（イラクに）突きつけた修正決議案自体の道理のなさを破たん、アメリカの孤立ぶりを示している」と述べました。

市田氏は、小泉首相が同日の記者会見で、ブッシュ米大統領の十七日中の修正決議案の採決表明を「支持」するだけでなく、「新たな国連決議なしでも武力行使は、いままでの国連決議でも可能」との考えを示したことに、「きわめて重大だ。少なくとも言葉の上では『国際協調』を小泉首相はいつてきた。みずから述べてきたことの破たん」と批判しました。

また、「日本が北朝鮮問題を抱えているためアメリカの攻撃に賛成せざるを得ない」とする議論について問われ、「国際法上、正當か不当かの分析をぬきに、北朝鮮問題と天びんにかけるといのは、情けない問題のすり替えだ」と指摘。同時に、「イラク問題でこの形、国連を無視して武力行使をやることになれば、北朝鮮の問題でもアメリカの単独の武力行使で問題を片づけることになるが、かねない問題を含んでいる」と批判しました。



BUSH-BLAIR!!



16日、インドネシアの首都ジャカルタで行われた「平和のためのタベ」集会で、反戦ポスターを掲げる女性（ロイター）

「ニューデリー17日小玉純」世界各国の「十六日夜七時」に「平和のための世界のタベ」が呼びかけられ、百四十カ国、六千八百カ所以上で取り組まれた。呼びかけは米国のグループ「ムーブ・オン」。

「ニューデリー17日小玉純」世界各国の「十六日夜七時」に「平和のための世界のタベ」が呼びかけられ、百四十カ国、六千八百カ所以上で取り組まれた。呼びかけは米国のグループ「ムーブ・オン」。

「イラクが戦場にならな」ことを祈りました。三十分、人々は静かに祈り続けました。英国の文学賞・ブッカー賞受賞作家のアルンダティ・ロイさんも参加しました。（7面に関連記事）

「ニューデリー17日小玉純」世界各国の「十六日夜七時」に「平和のための世界のタベ」が呼びかけられ、百四十カ国、六千八百カ所以上で取り組まれた。呼びかけは米国のグループ「ムーブ・オン」。

「ニューデリー17日小玉純」世界各国の「十六日夜七時」に「平和のための世界のタベ」が呼びかけられ、百四十カ国、六千八百カ所以上で取り組まれた。呼びかけは米国のグループ「ムーブ・オン」。

カラーになって大好評! 家族みんなの新聞

しんぶん赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月 800円

お申し込みは ☆

黒田みち

790-3055